

みんなの健康ラジオ

『体に優しいがんの放射線治療』

(2021年6月24日放送)

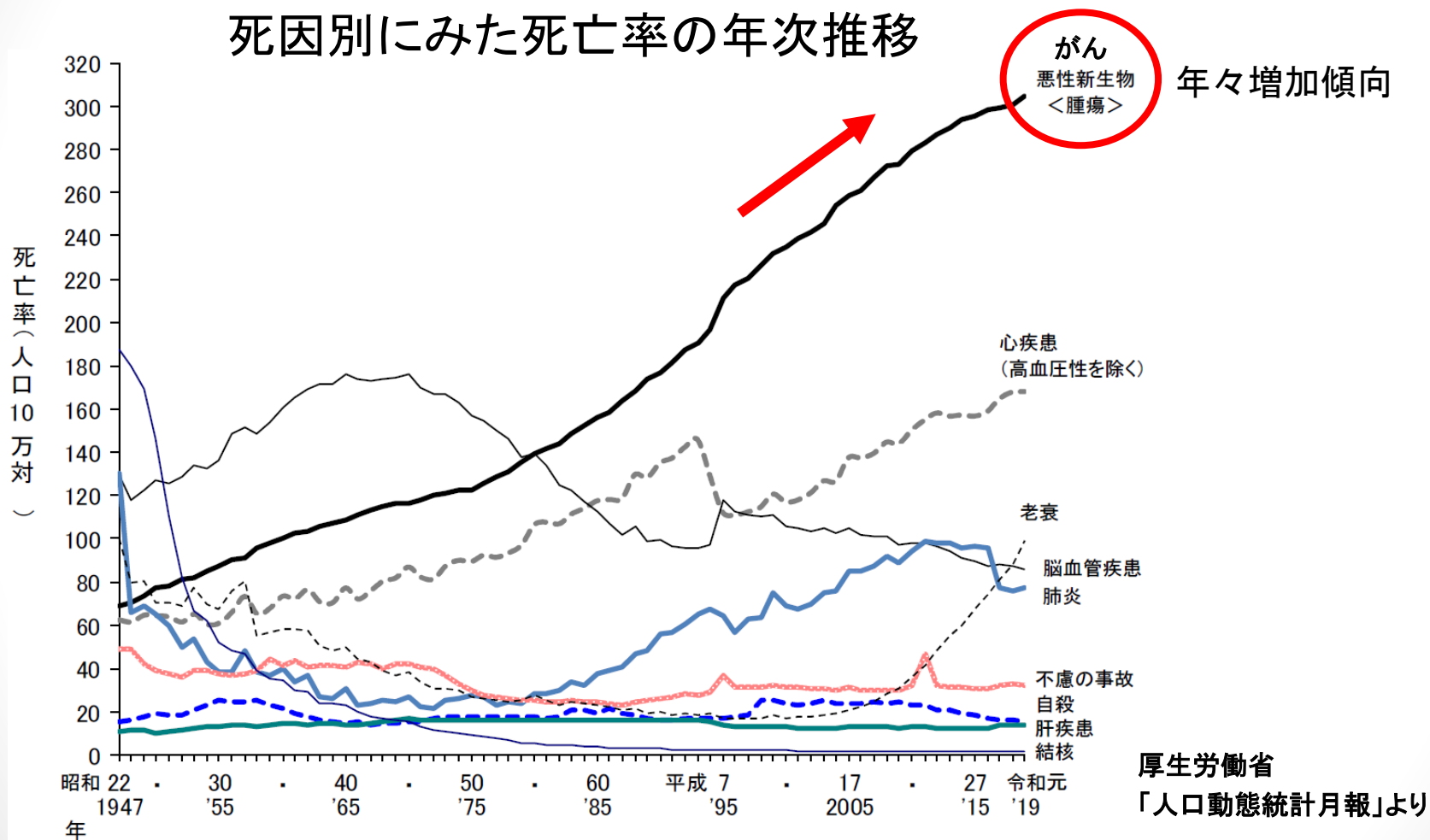
横浜放射線医会

横浜市立大学

幡多 政治

がんは死因の第一位！

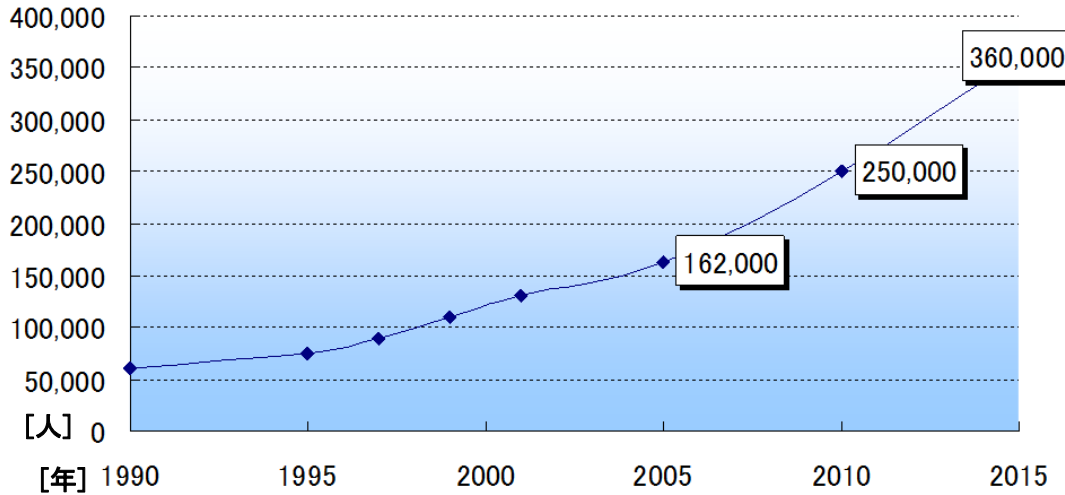
死因別にみた死亡率の年次推移



2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで亡くなる。

放射線治療の状況

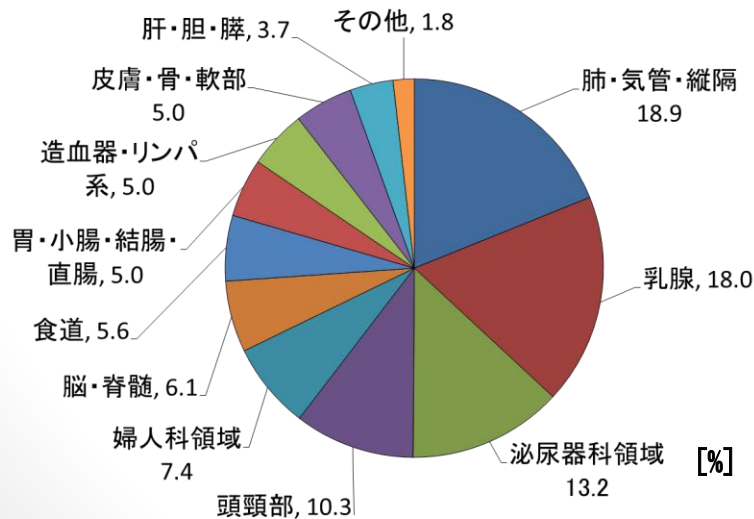
放射線治療患者数の年次推移



放射線治療患者数は増加の一途をたどっている。

日本放射線腫瘍学会構造調査
厚生労働省がん研究助成金(14-6)より

放射線治療患者の部位別内訳



様々な臓器・部位のがんに対して放射線治療は行われている。

日本放射線腫瘍学会 2015年度調査より

放射線治療の特徴（長所）

	手術	放射線治療	薬物治療
治療様式 (副作用)	局所	局所	全身
臓器温存	×	○	○

- 放射線治療は、切らずに治すために体への負担が少なく、局所の治療により副作用が限定的で、高齢者や重い合併症を持った方でも比較的安全に治療を受けることができる。
- 正常臓器を温存することにより、その臓器が持つ機能や形態を維持することができる。
- 体への負担が少ないために、全身状態を悪化させることなく痛みなどのがんの症状を緩和することができる。

放射線治療の方法

➤ 外照射

- がんを外から放射線で狙い撃ちする方法。
- 多くはこの方法で放射線治療が行われる。
- 1回で終わるものから40回近く行うものまで回数は様々で、基本的に1日1回、平日毎日治療を行う。

➤ 小線源治療

- 放射線が出る小さな物質をがんの近くに留置して照射する方法。
- 前立腺がんや子宮頸がんなど、一部のがんで用いられる。

外照射の治療機器

リニアック(直線加速器)が最もよく用いられている。



リニアックと
治療中の
患者さん

様々な方向・角度から体内のがんに対して正確に放射線ビームが照射される。